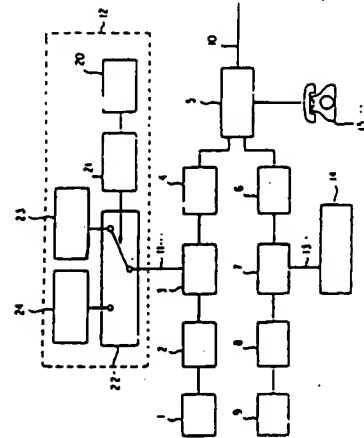


(11) 4-120889 (A) (43) 21.4.1992 (19) JP  
(2) Appl. No. 2-239909 (22) 12.9.1990  
(71) HITACHI LTD (72) KATSUMI OKUMA(2)  
(51) Int. Cl.<sup>6</sup> H04N7/14, H04N5/225

**CONSTITUTION:** This system is equipped with a television camera 1, preprocessing circuit 2, frame memories 3 and 7, encoder circuit 4, transmission interface 5, decoder circuit 6, post-processing circuit 8, display 9, transmission line 10, addresses 11 and 13, frame memory address control circuits 12 and 14 and main body 15 of a telephone set. When inputting a drawing, the direction of the television camera 1 is axially rotated within one frame in comparison with the case of inputting the own image of a speaker by an image pickup direction rotation part 20, and according to the direction of an object, the order to read or write picture signals from the television camera 1 to the frame memories 3 and 7 is changed. Thus, any additive device is unnecessary, and system scale can be reduced as a whole.



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-120889

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>

H 04 N 7/14  
5/225

識別記号

Z

庁内整理番号

8943-5C  
8942-5C

⑭ 公開 平成4年(1992)4月21日

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全5頁)

⑬ 発明の名称 テレビ電話装置

⑯ 特 願 平2-239909

⑰ 出 願 平2(1990)9月12日

⑱ 発 明 者 大 熊 克 己 東京都分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中央研究所内  
⑱ 発 明 者 木 村 淳 一 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株式会社日立製作所試作開発センタ内  
⑱ 発 明 者 滝 沢 正 明 東京都分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中央研究所内  
⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地  
⑳ 代 理 人 弁理士 薄田 利幸 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

テレビ電話装置

2. 特許請求の範囲

1. 電話機本体と、通話する相手側の画像を表示するディスプレイと、通話する相手側に送る被写体を撮影するテレビカメラと、上記テレビカメラで撮影された画像信号を記録するフレームメモリとを備えたテレビ電話装置において、

上記テレビカメラの向きを上記被写体の変化に応じて回転する手段、被写体の変化を検出する手段と、被写体の変化に応じて上記フレームメモリへの書き込み又は読みだしの順序を切り換える手段とを有することを特徴とするテレビ電話装置

2. 請求項第1記載において、上記被写体の変化を検出する手段はテレビカメラの向きの変化によることを特徴とするテレビ電話装置  
3. 請求項第1記載において、上記被写体が人物

及び書画であって、上記フレームメモリへの書き込み又は読みだしの順序を切り換える手段が上記テレビカメラ出力信号の画像のパターンによって切り替えを行なう手段を有することを特徴とするテレビ電話装置。

4. 請求項第1記載において、上記被写体が人物及び上記人物にほぼ直交する位置に配置される書画であって、上記テレビカメラの向きを回転する手段が回転軸にたいしてほぼ90°回転するように構成されたことを特徴とするテレビ電話装置。

5. 撮像方向が平面内で変わり難いとするテレビカメラと、上記テレビカメラからの画像信号も記憶するフレームメモリと、上記フレームメモリから読みだされた画像信号を符号化してテレビ画像信号を作る回路と、上記テレビカメラの撮像方向を検出する位置検出手段と、上記位置検出手段の検出したテレビカメラの撮像方向に対応して上記フレームメモリの読みだしの順序を切り換える手段とを有するテレビ電話装置

特開平 4-120889(2)

発明の要旨。

3. 発明の詳細な説明。

〔産業上の利用分野〕

本発明はテレビ電話装置、特に電話通話者の画像と通話者の近くに置かれた書画等の画像を切り換えて音声と共に画像を送送するテレビ電話装置に関する。

〔従来の技術〕

テレビ電話は、電話器本体のほかに通話する相手側の画像を表示するディスプレイと、通話する相手側に送る画像を撮影するテレビカメラとを備えて構成される。ところで、通常の会話時に通話者の自己画像を送送する以外に、書画等の画像を送送し、その書画について会話したい場合がある。通話者、書画それぞれの被写体の特徴として、通話者はディスプレイに向き合う位置にあるのに対して、書画は通常机等の上に通話者に対して垂直に置かれ、通話者がその書画を見ながら会話できるように通話者の方に書画の下側が配設されることがあげられる。

- 3 -

り替えを行なう信号処理が必要となる。この理由からも回路規模が増大する。

上記(2)の方式は、1個のカメラで画像入力が可能となるが、カメラを取り外し可能にした場合、書画等静止した被写体に対してはカメラを固定する手段が必要となる。また、取外しを行わない場合でも通話者のほうに書画の下側が向けられるためにはカメラを水平方向に180度、垂直方向に90度動かす必要があり、そのための機械的な動作部分が多くなり装置の構成及び操作が複雑になる問題がある。

上記(3)の方式は、テレビカメラの外部に光学系が必要となり全体としての装置規模が増加する問題がある。

従って、本発明の主な目的は、外部装置を不要とし、装置の機械的な動作部分を最小限にすることにより、装置の小型経済化を達成する手段を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するため、本発明は

この異なる性質の被写体に応じて画像入力の方角を変える必要がある。つまり、通話者の自己の画像を送るときにはディスプレイの表示面と対向する方向から、書画を送るときにはテレビ電話の置いてある台の面方向からテレビカメラに画像を入力する必要がある。

画像入力の方角を変えるには次の方式が知られ、または考えられる。

(1) 人物用カメラと書画用カメラを用意し、被写体に応じて切り換える方式。

(2) カメラを自由に動かせるようにして、(装置本体から取り外し可能にすることを含む。)被写体に応じてカメラの向きを変える方式。

(3) 書画入力時にはミラー等光学的手段により画像入力の方角を変える方式(特許公開公報、特開平2-92822号)。

〔発明が解決しようとする課題〕

上記(1)の方式は、カメラが2個必要になり全体としての装置規模が増加する。また、カメラからの映像信号入力力が2系統生じ、この信号の切

- 4 -

(1) 書画を入力する場合にはテレビカメラの向きを通話者の自己の画像の入力時に対し、1平面内で回転する機構を設ける。

(2) 被写体の変化により、テレビカメラからの映像信号のフレームメモリへの書き込み又は読みだし順序を変える手段を設ける。

本発明の好ましい態様においては、被写体の変化をテレビカメラの向きの変化により検出する手段を設ける。

1平面内で回転する機構は、テレビ電話の性質上、話者が書画を見やすい位置と画像の歪みが少ないようカメラの固定位置をほぼ90°の回転を行なって固定することが望ましい。

〔作用〕

本発明のテレビ電話では、前記(1)の手段により、テレビカメラの機械的な動作部分を最小限に抑えることができる。しかし、第4図で説明するように、テレビカメラを90度下方に回転しただけでは、通話者がその書画を見ながら会話できるように通話者のほうに書画の下側が向けら

- 5 -

- 6 -

れる場合、画像の走査において、書画の上下が逆転する。

そこで上記(2)の手段により、フレームメモリの書き込み又は読み出しの順序とは逆にすることができる。

よって、1平面内で回転する回転機構とフレームメモリの読み出しの順序を変える簡単な制御回路を設けるのみで良く、従来の技術の例(2)で述べたようなテレビカメラ水平方向及び垂直方向の両方の回転動作を必要としない。

#### 【実施例】

以下、本発明の実施例を図面を用いて説明する。

第1図は本発明によるテレビ電話の1実施例の全体構成図である。

図面において、点線で囲まれた部分が本発明の特徴部分で、他の部分は従来のものと同様である。

まず、従来の部分を簡単に説明する。このテレビ電話は、カメラ装置2、フレームメモリ3、7符号化回路4、伝送インターフェイス5、復号化回路6、後処理回路6、ディスプレイ9により構成

されている。

テレビカメラ1からの信号は前処理回路2で映像信号に変換された後、フレームメモリ3に映像信号が入力され、符号化回路4にて圧縮符号化される。フレームメモリ3のアドレス11はフレームメモリアドレス制御回路12により生成される。符号化された信号は、伝送インターフェイス5にて所定の伝送信号に変換され、伝送信号が伝送路10を介して通話する相手側端末に伝送される。伝送路10を介して相手側から送られてきた映像信号は伝送インターフェイス5を介して復号化回路6に入力され、復号化された後、フレームメモリ7に書き込まれる。フレームメモリ4のアドレス13はフレームメモリアドレス制御回路14により生成される。フレームメモリ4のデータは後処理回路8にてディスプレイ9への映像信号に変換される。これによりディスプレイ装置9へは相手側の画像が表示される。電話機本体15は伝送インターフェイス5を介して相手との音声通話を行なう。

- 7 -

次に本発明に係る部分(点線内)を説明する。

この装置の動作モードとしては通話者の画像を送受する人物モードと書画の画像を送受する書画モードとがある。

まず、本発明の第1の特徴である「撮像方向回転部」20を、第4図を用いて説明する。

(1) 人物モードにおいては、撮像部は通話者の方向、即ちカメラが通話者に対向し、通常はディスプレイの表示画面の方向に向いている。

(2) 書画モードにおいては、撮像部は書画の方向、即ち下の方向に向いている。

このことにより、被写体である通話者及び書画の位置を変えず、カメラを回転軸を中心に約90°回転するのみで、画像入力の切り替えを行なうことができる。

なお、書画の位置は上記位置に限定されるものではなく、テレビカメラを対象点として通話者の反対位置に有る場合も、本発明は同様の効果を持つことは明らかである。

次に本発明の第2の特徴である「フレームメモ

リアドレス制御回路」12を第1図、第2図及び第3図を用いて説明する。

(1) 撮像方向回転部20の変化は、撮像方向回転検出部21により検出され、人物モード、書画モードが判定される。判定結果により、撮像方向回転検出部21に連動した被写体スイッチ22が適宜切り替えられる。この信号により人物用アドレスカウンタ23と書画用アドレスカウンタ24の一方が選択される。

(2) カメラの走査が第2図のような順序、即ち垂直方向の上から下に、水平方向の左から右へ行なわれているとする。人物モードでは、フレームメモリ3への書き込み及び読み出しは第2図のようにカメラの走査と同じ順序で行なわれる。

(3) 書画モードでは、フレームメモリへの書き込みは第3図のようにカメラの走査と逆の順序、即ち垂直方向の下から上に、水平方向の右から左へ行なわれる。読み出しは第2図のようにカメラの走査と同じ順序で行なわれる。

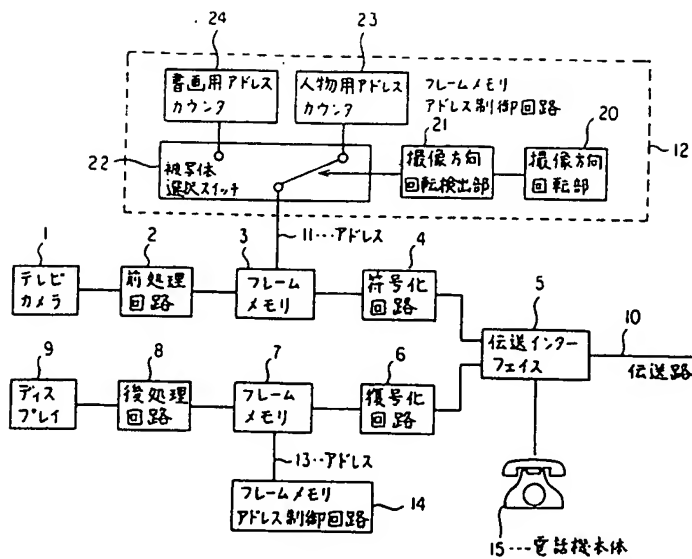
(4) これにより符号化回路以降の映像信号は見

- 9 -

615  
of

- 10 -

- 12 -



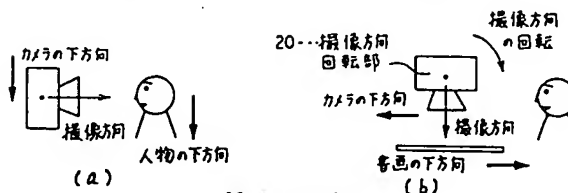
第 1 図



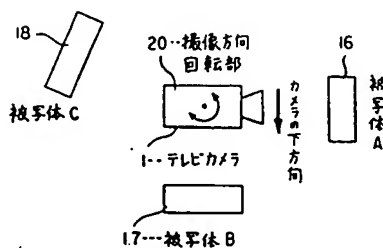
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図